



萌木 10月号



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

～自尊・立志・感謝～

令和3年10月25日発行

成長のための次の一歩

校長 山田 勝

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除され、少しずつですが学校での活動の制約も見直しをし、実際のご案内となりましたが、合唱コンクールに保護者の方に参観していただいて調布グリーンホールを会場に開催することができました。

1階席は1席ずつ間隔をあけるため生徒席で埋まり教員は確保できませんでしたが、2階席を生徒と動線を分けて保護者席に設定することができました。参観していただく保護者の皆様にも各家庭1名の人数制限や学年の部ごとの席の入れ替えなど多くの制約の中での鑑賞をお願いしました。また鑑賞の保護者の皆様の受付・誘導・案内・保護者席の消毒まですべてをPTA執行部の皆様とお手伝いボランティアのPTAの方に担当していただき、感染対策を取りながら保護者の方の参観の場を設定することができました。ありがとうございました。

昨年の臨時休校以来、卒業式入学式以外の場で保護者の方に生徒の成長の様子を見ていただける機会を設けることができていませんでした。久しぶりの鑑賞の場で一人一人の生徒の集団の中でこそわかる成長ぶりをしっかり見届けていただけたと思います。

合唱コンクールの開会式では、1年の部の前でしたので1年生の保護者の参観の方にも次のような話をしてコンクールに臨んでもらいました。

今日は1,2年生にとっては初めての、3年生にとっては2年ぶりに第七中学校合唱コンクールがここグリーンホールで行われます。あまり長くはなかった練習期間でしたが、どのクラスもいろいろな壁を乗り越えて今日の発表を迎えました。感染症対策でできることが限られた中でしたが、クラスの仲間とともに今できることに一生懸命取り組んだ成果を、披露してください。

合唱は指揮者と伴奏者以外横に並んでお互いが視界にない中で、指揮者の合図で声を合わせ、指揮者の向こうの聞き手に声と心を届ける、そのような活動だと思えます。

「歌には心がある」以前、そのように教わったことがあります。あなたのクラスの曲はどのようなメッセージを聞き手に届けてくれますか。

自分がクラスの仲間と真剣に取り組んだ合唱を発表し、他クラスの仲間の真剣な発表を鑑賞することができるこの機会は、1年生として、2年生として、そして3年生として自分や自分の仲間がどう成長していたのか、どう成長していけるのか、自分や自分たちがどのように成長していけばよいのかこれからの一歩を踏み出す方向を見極める良い指標となるはずです。

真剣な気持ちを交わせ一人一人の成長につながる良い一日となることを願っています。

ホールにいる全員の気持ちが、歌を通して歌い手も聞き手も心が通い合う、その時間を共有できることを楽しみましょう。

グリーンホールのステージの上で、また、多数の保護者の方の参観の中で各クラスが精いっぱい、心を通じ合わせたよい発表でした。この経験は生徒一人一人にとって自信を深め、仲間と共に頑張る意義を感じる良い成長の場となったと思います。

それぞれ、他学年の発表を見て、翌年翌々年の目標を考えたり、昨年一昨年の自分を思い出し自分や自分たちの成長を感じることができたでしょうか。そして自分の成長のために次の一歩をどの方向に踏み出すか、しっかり自分の力で考えて行動に移してほしいと思います。七中ではその生徒の成長をしっかり受け止めながら、さらに成長できる場を整えていきたいです。